

2017年度 シーズンに向けて

2017年1月
日本ジェットスポーツ連盟

1. はじめに

昨年度は、多くの皆様のご支援ご協力を得て全日本選手権シリーズ全8戦並びにフリースタイル全日本選手権シリーズ全4戦をすべて終了することができました。これもひとえに、選手のみならず並びに関係各位のご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

さて、2017年度はエントリー数・登録者数の減少により更なる経費の削減を迫られる状況になると思われます。これにより、全日本選手権シリーズ戦をすべて競技団体の主催で行うなど各事業並びに運営体制について対策を検討しておりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

また、近年環境問題が大きく取り上げられている中、当連盟においても騒音、ガソリン、オイル等の環境問題について、今まで以上に改善に取り組むべく、重点をおいて推進しなければならないと考えます。みなさまにおかれましても、ご協力をお願いします。

2. 実施する競技会

1) 全日本選手権シリーズ戦(クローズドコース)

全8戦を実施予定。2017年度はすべて競技団体(中部ジェットスポーツ連盟・近畿ジェットスポーツ連盟)が主催する方向で計画しています。

- ①開催時期 : 4月～9月(開催地、日程は開催候補地と交渉中です。)
- ②開催日程 : 各競技団体により、土曜日に1戦、日曜日に1戦のそれぞれ1日開催または通常の日での開催を予定しております。ただしフリースタイルと併催の場合は、変則的になる可能性があります。
- ③年間成績 : 8戦中7戦評価(予定)

2) 全日本フリースタイル選手権シリーズ戦

全5戦実施予定。開催地、日程は開催候補地と交渉中です。

- ②開催時期 : 4月～9月
- ③開催日程 : 通常の日での開催を予定しております。大会により、1日1戦もあります。
- ④年間成績 : 5戦中4戦評価(予定)

3) 実施するクラス

P 級	P SKI OPEN	
	P R/A OPEN	
	P W SKI SLTD	
	P R/A	STK
A 級	A SKI SLTD	
	A R/A SLTD	
	A R/A	STK
	A W SKI SLTD	
B 級	B SKI LTD	
	B SKI STK	
	B R/A STK	
	B R/A NA STK	
	B W SKI LTD	
M 級	M R/A 4stSTK 2stLTD	
	M SKI SLTD	
P 級 A 級 B 級 M 級	R/A 1200 SLTD	
	R/A 800 OPEN	
	SPO 800 OPEN	
	BRP SPARK	SPARK 限定
フリースタイル	P FS MOD	
	A FS MOD 900cc 1200cc	
	W FS MOD	
	M FS MOD	

3. 保険について

競技参加者は傷害保険の加入が義務付けとなりました。また、選手登録が完了された方は傷害保険に加入済みです。ただし、この傷害保険は日本ジェットスポーツ連盟のシリーズ戦のレースのみが対象となるもので、通常の練習での事故や賠償責任は対象外となります。

※ヨット・モーターボート保険等(賠償責任保険)、ほかの傷害保険と合わせて両方に加入することをお勧めいたします。

4. 安全講習会の実施について

クローズドレース競技会に参加するには安全講習会への参加が義務付けられます。

5. 新規レーシングライセンスの取得について

クローズドコース、フリースタイルの大会前日に会場にて実技、学科講習を実施します。この講習会に参加する場合は次について注意してください。

- ① JJSFに登録されたチームに所属し、チーム代表者の推薦状を提出すること。(スパーククラスは除く)
- ② 十分に練習を行い、安全にレースに参加できる技量を身に付けておくこと。
- ③ 翌日からの大会に参加する場合は、事前にエントリーが完了していること。
- ④ 競技艇の登録、規則に基づく安全装備などシリーズ戦の参加要件は全て満たしていること。(所属チームにおいて指導をお願いします)
- ⑤ あらかじめサウザンドカップ等の承認レース参加の15ポイントがある場合は学科講習のみの受講で取得できます。

6. マスターズクラスについて

年齢が40歳以上の方は、ライダー資格をマスターズ(M級)として選手登録できます。

新規に登録する場合はライセンス講習会に参加して32,000円で登録ができ、通常の新規選手と同じ扱いとなる。

また、以前JJSFに登録していて、更新していない選手の場合(失効期間に関係なく)は12,000円で更新できる。但し、この場合はマスターズクラスしか参加できない。

7. 失効者の取り扱い

ライダー登録の失効者が再度ライダー登録する場合、参加ポイントは不要で、学科講習を受講するか、失効期間分の一般会員年会費(5,000円×年数)を支払うことにより、登録できます。また、競技会に参加しない場合は、ライダー登録を更新しなくとも一般会員で登録をすることにより、失効のペナルティーはつきません。失効者の資格継続については、プロ資格で失効した場合、またA級資格で失効し最終成績が当該クラスの5割以上で、チーム推薦状があればA級とし、それ以外はB級となります。

8. 規則集について

規則集に明記していないことはしないこと。規則集はJJSFホームページからダウンロードしてください。

9. スパーククラスについて

BRP社製スパークのみ使用のクラス。ただし、昇格はありません。

競技艇登録は無くてもよい。チームに所属しなくてもスパーク使用レースに参加できます。

チームに入ってる場合には、チームポイントが付きます。

新規参加者はB級扱いとなり、通常とおり講習を受けて選手登録してください。

本年度よりBRP社の意向によりプロの方も参加は出来ます。

SPARK CUPの艇の改造はストックレギュレーションとします。ストックレギュレーションとは⇒規則集850を参照

スパークで通常レースに参加する場合は、R/A800オープンクラスに参加可能で、改造はSLTDまでOKとする。この場合は、チーム登録と艇登録が必要となります。

ゼッケンは青バック、白文字で登録順に番号をとります。

希望のゼッケンを付けたい場合は、年間指定ゼッケン申請(「12」参照)して下さい。

10. 賞金について

スパーククラスに於いて各レース1位～3位、年間表彰1位～3位までBRP社より賞金が授与されます。楯はありません。

11. 希望ゼッケンナンバー申請について

P, A, B級について年間指定ゼッケン(2桁まで)を受付けることとなりました。
 希望ゼッケンナンバーは、年間指定ゼッケン申請書にて申請してください。
 料金は1クラスにつき5000円です。
 希望番号が重複した場合には成績上位者が優先となります。

12. カワサキULTRA艇について <2016年度より施行>

ULTRA250系260系と、300系310系は別機種とする。
 規則集追記文 競技艇

- 5 (1) 下記の機種は、同一機種であるため、全ての部品を交換してよい。
 (ホ) カワサキULTRA LXと250Xと260X
 (ハ) カワサキULTRA 300X/SE/R/LXと310X/R/LX

13. R/A STK について P A B共通 4サイクルのみ

- ① 純正ECUを改造してよい。純正コネクターに接続できるものであればリミッターを解除するものをつけてよい。但し、追加センサーは認めない。エンジン温度センサーは作動しなくてよい。
- ② バルブスプリングリテーナーは社外品を使用してよい。
- ③ フュエルプレッシャーレギュレーターは社外品または、改造してよい。
- ④ 以前に穴あけやタッピングされたエキゾーストマニホールドは穴埋めや閉栓をする事によって使用してよい。
- ⑤ カムシャフトのタイミングは変更してよい、但し、純正品とし、カムシャフト本体を加工してはならない。
- ⑥ トリムタブは同一形状の社外品を使用してよい。素材は変更してよい。
- ⑦ スタータモーター、エンジンマウントの社外品を使用してよい。
- ⑧ 純正品部品は同一機種の新旧部品と交換してよい。

冷却水制御装置及び排水系統

- (イ) 冷却水供給ラインは、加工したり追加してよい。ただし、純正の供給ラインの径を変更してはならない。
- (ロ) バルブは、社外品を使用してよい。ただし、固定式または自動式(例:サーモスタット、圧力弁、ソレノイド等)のもので無ければならない。
- (ハ) 冷却作動中に、水の流れを変更する為の手動式制御装置は、取り付けはならない。
- (ニ) インタークーラーの冷却用の追加ラインは純正品に直接取り付けしてよい。

バイパスフィッティング

- (イ) 改造、取り付けの変更及び社外品を使用してよい。また、追加したり、位置を移動してよい。
- (ロ) 排水出口は、他のライダーに危険を生じないように、下方/後方に向けなければならない。

14. 違法登録艇について

違法登録艇(テンプラ艇)の発覚があった場合、「公文書偽造【犯罪】であり、大会及びJJSF協会運営に影響を与えることとなるため、確信犯として、ライダー資格のはく奪及びチームブラック(当該大会チーム員全員失格)のパナルティ」となります。

15. 2017年より、カワサキ SX-R(4st)の扱いについて

「従来通りのSKIクラスに参加出来ます。」

4ストロークエンジン艇の参加適合クラス						
【0-1500cc 4ストローク】						
SKI	0-800cc 4ストローク 無加給エンジン	0-800cc 4ストローク 加給エンジン	0-800cc 4ストローク 無加給エンジン	0-800cc 4ストローク 加給エンジン	0-1500cc 4ストローク 無加給エンジン	0-1500cc 4ストローク 無加給エンジン
参加クラス	STK	STK	SLTD	SLTD	STK	SLTD
P SKI OPEN	○	○	○	○	○	○
A SKI SLTD	○	○	○	○	○	○
B SKI LTD	○	○			○	
B SKI STK	○	○			○	

16. P. SKI OPENクラス、P. R/A OPENクラスについて

P. SKI OPEN P. R/A OPEN クラスは2018年度より「SLTDクラス」に変更となります。

P. SKI OPEN → P. SKI SLTD

P. R/A OPEN → P. R/A SLTD

2018度よりP. SKI OPEN P. R/A OPEN のマシンは日本パワーボート協会のアクアバイクに参加する事が出来ま
す。(アクアバイクとJJSFは同時開催する。)

17. 2017 【規則集変更について】

浮沈について規則集変更 870リミテッドクラス以上

12 船体系統

変更前 7)エンジンの浮力材は、改造したり、取り外してよい。ただし、沈船しない対策をしなければならない。

変更後 7) 船体の浮力材は、移動してよい。ただし、沈船しない対策をしなければならない。

に変更する。

セーフティーインスペクション申告書に 浮力体 沈船対策の項目を増やしました。